

令和5年度第2回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和6年2月13日(火)午後3時30分から4時45分まで
2. 開催場所 文化センター2階かおりホール（中ホール）
3. 出席者 中里会長、根本委員、野崎委員、駒井委員、
事務局：山本生涯課長、岸下主査補、長谷川主任
4. 欠席者 上田委員、橋本委員
5. 傍聴者 なし
6. 議題 1 令和5年度の事業実施状況について（公開）
2 令和6年度事業計画（案）について（公開）
3 その他（公開）
7. 配布資料
資料① 令和5(2023)年度事業報告
②表「2016年度～2022年度 一般投映の投映回数と来館者数推移」
②裏「2014年度～2022年度 幼児投映・学習投映の来校数と来館者の推移」
資料③ 令和6(2024)年度事業計画（案）
8. 会議での確認・承認事項
①令和5年度事業経過の確認
②令和6年度事業計画の承認
9. 議 事 以下のとおり

事務局

議題1 令和5年度の事業実施状況について

事務局より資料にそって、事業内容と結果について報告を行う。

資料①「令和5(2023)年度事業報告」参照

まず、郷土・プラネタリウム班は、今年度、生涯学習課文化班と統合し、生涯学習課学芸係に所属変更となったが、勤務場所の違い、出勤日のずれから仕事に支障が生じたため、来年度は再び文化センター所属、郷土・プラネタリウム班へ戻ることとなった。

事業については、職員1名が年度初めに休職したことにより講座の回数の減、及び番組内容の変更を行ったが、その他計画に沿って事業を行うことができた。

「どなたでも学習投映」は、平均10人前後の観覧者が来た。コロナ禍により参加できなかった児童を対象として始めたものだが、ある一定の需要が見られるため、コロナ禍が収まった後も、土曜・日曜に継続し行うこととした。

	<p>「にんさんぷラネタリウム With 図書館」の、観覧者数は少なかったが、妊婦同士が出会える場の提供、子育てを応援する場として開催日を平日に移して今後も継続していきたい。</p> <p>「星空ライブコンサート」では、三味線の演奏は初めてであったが、奏者の桂小すみさんが演奏と共に、話でも場を盛り上げ大変良かった。</p> <p>「昼間の星を見る会」は、曇天により1月までの4回中3回が中止。残り1回も開始30分で中止となった。しかし、夜の観望会は、4月以外すべて実施することができた。</p> <p>「天文講演会」は、定員100名のところ77名の申し込み参加があった。例年だと、スター・キッズ・クラブ会員約30名程がそこに加わるのだが、今回は、スター・キッズ・クラブの募集が遅かったため、キッズ・クラブからの参加者はなかった。習志野隕石にも関わる、流星のお話は大変面白く、キッズの子どもたちにも聞かせたかった。</p>
●●	<p>令和5年度事業実施報告について、質問はあるか。</p>
●●	<p>行政の組織について、プラネタリウムは文化センターに戻るということだが、教育委員会から市役所に戻ってきたということか。</p>
事務局	<p>生涯学習課も文化センターも、教育委員会に属しており、今回は教育委員会内の部署移動である。</p>
●●	<p>文化センター郷土・プラネタリウム班が文化センター所属に戻る理由として、あり方検討委員会との兼ね合いがあったのか。</p>
事務局	<p>令和5年度の組織改編について、学芸員の採用が思った以上に進んでおらず、市役所勤務の学芸員と文化センター勤務の学芸員が同一の係で仕事をすれば、知識継承や共有がスムーズに行われるのではないかという狙いで一つの係で編成した。1年間実施してみたが、狙いを達成する弊害として勤務場所の相違があった。同じ執務スペースでの作業が行えないのであれば、人事異動によって業務継承を行った方がスムーズに行えるという結論に達し、令和6年度から切り替えることになった。</p> <p>資料にそって、プラネタリウムの投映時間について報告を行う。</p> <p>②表面</p> <p>「2016年度～2022年度 一般投映の投映回数と来館者数推移」参照</p>
事務局	<p>2019年まで日曜日は、一般投映を3回実施していたが、コロナ禍の2020年</p>

	以降、土曜・日曜の 13:30 の一般投映を休止し、日曜午前のみ投映していた子ども向け投映を、土曜の午前にも投映するように変更した。この投映時間にしてから、番組準備、投映シフトの調整が以前よりスムーズに行えるようになった。また、投映回数と来館者数を比較して、効率よく入館者数を増やしていることがわかる。13:30 にイベント投映や団体投映の予約が可能になったことも、良い効果を感じる。そのため、今後もこの形態を継続していきたい。
●●	以上について、質問はあるか。
●●	リピーターと新規のお客様だとどちらが多く来館しているのか。
事務局	「大人のための天文教室」などはリピーターが多いが、一般投映のアンケート等を見ると、新規のお客様が 3 分の 1 から 2 分の 1 を占めている。
●●	13:30 に、イベント投映も行っていると言っていたが、イベント投映を合わせた人数はどこを見れば良いのか。
事務局	合わせたものについては、来年度に行われる運営協議会にて報告する。
●●	全体としての人数の増減がわからない。また、一般投映が一回減ることで片方に人数が集中するのかもしれない。あまり変化がない。もともと、一回の投映にいっぱい人が入っていたためか。
事務局	野崎委員と同様に人数が片方に集中すると考えていたが、表を見ると変化は見られない。イベント投映をその間に行うことがあるので、それが影響しているのかもしれない。13:30 の回がなくなったことで、一般向け投映の観覧者数は減ったが、その時間を、職員が番組準備等に充てられるという利点は大きい。
●●	数字を見る限りでは、ロイ君アワーは投映回数が増えたことで利用しやすくなったと思われるため、このまま続けていくのが良い。
●●	②裏面の幼児投映・学習投映の人数表を見ると、子どもの数が減少してきているという心配な面もあるが、子ども向けの投映を行っていることが、子どものいる世代に認知されてきていると感じられて良かった。
事務局	ロイ君アワーの投映回数を増やしたことは、良い結果となった。

続けて、②裏面「2014年度～2022年度 幼児投映・学習投映の来校数と来館者の推移」について報告を行う。

市内の幼稚園・保育園を見ると、来園数は、ほぼ変わらないが、人数は2014年から300人以上減少している。市外は、保育園数が増え、来園数は増えているが、人数は200人近く減少している。学習投映も同様。

1日に投映する回数を3回までとすると、投映に入れられる園や学校の数に限りがある。しかし、投映回数は増えているのに、来館者人数は減っているという状態である。新型コロナ蔓延時は、1投映1団体としていたので、投映希望の多い月は、申し込みを断らなければいけないこともあった。今後、来館者数を増やす上で重要になってくるのは、一般投映に多くの方に足を運んでもらうことと思われる。

●● ここまでで、質問はあるか。

では、次の議題「令和6年度事業計画(案)について」をお願いします。

事務局

議題2 令和6年度事業計画(案)について

事務局より資料にそって、令和6年度の事業計画について説明を行う。

資料④「令和6(2024)年度事業計画(案)」参照

文化センター開館30周年を記念した事業を行う。天文現象としては、多くの食が見られる年なので、楽しんでもらえるように情報提供をしていく。

「どなたでも学習投映」は、今まで土曜のみの投映だったが、来年度は土曜・日曜に割り振る形に変更。学習投映に来られなかった子どもたちが参加しやすいよう投映時期も調整する。

「にんさんぷラネタリウム With 図書館」は、平日も土曜も来館者数に大きな違いが見られず、若干平日が多いぐらいだった。来年度は平日の午前中に移して投映する。

その他の番組は今年度と同様に開催予定。「あなただけのプラネタリウム」については料金改定を検討中。

●● 令和6年度事業計画(案)について、質問はあるか。

●● プラチナアワーのテーマである「すい星」はどちらか。

事務局

コメントの方の「彗星」を取り扱う。

ひらがなだとどちらとも取れないので、両方とも扱うのかと思った。

事務局	<p>今回配布資料にはテーマのみ書いたが、お客様に宣伝する際は漢字にし、題名も工夫する予定。「彗星がやってくる」に決定)</p>
●●	<p>幅広い事業を展開しており大変だと思うが、それが来場者数を維持している要因の一つだと思った。子どもの数が減少している中で、幼児投映を通して楽しかった経験をした子どもたちが家族と一緒に来ようとする流れにつながっていると思う。</p> <p>「にんさんぷラネタリウム With 図書館」は、どのように企画を進めているのか。</p>
事務局	<p>図書館の司書による読み聞かせと図書館利用についての説明を20分ほど行い、後半で音楽と共に星の誕生についてのお話をプラネタリウムが行っている。本の選定は司書に任せており、題名は事業報告に記載してある。妊産婦さんの心に響く大変良い本を選定してくれている。毎年、年度末には、図書館と反省会を行い、内容、時間について検討している。</p>
●●	<p>星空ライブコンサートについて、令和6年度のゲストは既に決定しているようだが、どれぐらい前にゲストの方をお願いしているのか。令和5年度は三味線の桂小すみさんが良かったと話していたが、良かった方に2年連続でお願いすることはしないのか。</p>
事務局	<p>Yumi ♪Maki さんの様に例年お願いしている方がいて、それ以外の方々は、前年度ぐらいに、ご自分で売り込みにいらっしゃる方や、他のライブとの兼ね合いを考えて、良い方がいらっしゃたらお願いする。例えば、今度いらっしゃるハンドパンの綾野かずさんは、今年度の藤マナミさんのライブをご覧になって、ぜひ自分もお願いしたいとお声がけくださった。10、11月あたりから年度計画を立て始めるため、前年度の7、8月あたりに、ご縁のあった方や、過去にお世話になった方にお声掛けしている。また、演奏してもらいたい楽器から良い人がいないか探すこともあるが、同じ方に連続してお願いすることは少ない。</p>
●●	<p>ロイ君アワーは必ず土日祝に投映を行うわけではなく、ひよこプラネタリウムなどに代わることもあるが、投映内容が変更になることでお客様は迷ったりしないのか。</p>
事務局	<p>いつ、ひよこプラネタリウムを行うのかについては、毎回広報している。ひよこプラネタリウムに大きい子どもが来ることもあるが、下の子がいるか</p>

ら一緒に来ていることがほとんどで、みなさん広報を見たうえで、ほとんど間違わずにいらっしやっている。

●●
他にないか。

では、議題3「その他」についてお願いします。

事務局

議題3 その他

事務局より、文化センター開館30周年記念イベントについて説明を行う。

資料③「令和6(2024)年度事業計画(案)」参照

30周年記念イベントを大々的に宣伝するために、ポスター用にイラスト制作を依頼している。

アストロアワーは7月から、ロイ君アワーは9月からそれぞれ30周年記念番組を放映予定。

「プラネタリウムで謎解き」も力を入れており、料金は当初案として500円としていたが、安すぎるため、金額を上げる方向で検討中。(800円に決定)

郷土天文講座は、郷土資料館とコラボして「あの日あの時の星空」という講座を予定している。古文書に書かれた日付と出来事から、その事件がどのような夜に決行されたのかドームで再現する。

アクアマリンさんは、文化センターが開館したころから関わりがあり、ドームで流すオリジナル音楽を制作していただいたこともある。出演をお願いしたところ快諾していただいたため、ライブコンサートに加えトークショーをしていただくことになった。

「みんなで作る星座たち」は、あなただったら星をどのようにつなぐか、星図(星が描かれた紙)を提供し、自由に星をつないでもらったり絵を描いてもらったりして、集まったものをドームの中に映す予定。

30周年30天体チェックイベントは、「30天体ゲットだぜ！」(「30天体ゲットしよう！」に変更)という題名での開催を考えており、天体や星座のチェックリストを80天体ほど出し、実際の空で肉眼で見た、プラネタリウムで見た、望遠鏡で見たなど、3つの項目をコンプリートするとポイントを1個ゲットし、全部で30個ゲットできた人には記念品をプレゼントしようと考えている。このイベントを通して、星空を身近に感じることに、つなげてほしいと思う。

3階ギャラリーには、パンフレットや年表などを展示。宝幼稚園さんが製作してくれた顔はめパネルや惑星も展示させてもらう予定。

●●
文化センター開館30周年記念イベントについて、質問・意見等あるか。

●●	<p>「みんなで作る星座たち」は、昔うちもやっていた。おそらく星が書かれた紙を配って好きな星座を作ってもらおうということだと思うが、小学校に配ると私たちが想像もつかないような星座を作ってくるのがとても面白かった。描いた絵を、絵画展と同じように展示してあげるとおもしろいと思う。</p>
事務局	<p>星座名を伏せた、ある星座の星が書かれた紙を春夏秋冬に分けて置いておき、好きなものを取っていってもらおう。そして、その場もしくは家で描いて持ってきてもらうというのを考えている。東大和では星座の区切りはどうしていたのか。</p>
●●	<p>あまり範囲が広すぎると、どうして良いかわからなくなってしまう。それを用いた特別投映を行うのが夏頃だったため、へびつかい座近辺やヘルクレス座近辺などのあまり有名でない星空のあたりを使用した。みんなが知っている星座だとそこをつないでしまうので、ここにある星を使って新しい星座を作るようお願いしたら、ニンジン座や友達座などストーリーができそうなものができたのを覚えている。</p>
事務局	<p>大きな範囲で子どもたちは星座を作っていくと思うが、もともとの星座を子どもたちは知っていたのか。</p>
●●	<p>もちろんそれは教えない。一等星がない空で、みんなで星をつないで星座を作ろう、という感じで行った。上手い下手はあるが、上手いものはプラネタリウムで紹介した。今思えば、もっといろいろな方法で紹介すればよかったと思う。</p>
事務局	<p>どのように紹介すればいいと思うか。私たちは、描いてきてもらったものをドームにすべて転写して出そうと考えていたが、結構手間がかかるので、どうしようかと考えていた。展示するだけでも面白そうなので、ドームには選別したものだけ映すのも良いかも。</p>
●●	<p>当時は PowerPoint で映したと思う。今ならステラで線をつないで出せるから、実際に考えてくれたものを名前と一緒に出してあげるのが良いのではないか。ただ、プラネタリウムで出そうと思うと数に限りがあるので、1時間で3~5個ぐらいしか紹介できなかつた。テンポよく紹介すればよかったかもしれないが、私がストーリーを交えて話したのであまりたくさん紹介できなかつた。</p>
●●	<p>幼児向け投映の時に同じようなことを行った。その時は一般投映だった</p>

	<p>め、事前に描きたい人に紙を持って帰ってもらって、描いてもらったものを次の投映までに用意して出すというのを土日のみだが3か月行った。子ども向けだったので、オリオン座やこいぬ座、おおいぬ座など2,3種用意して好きなものを選ぶ形にした。少し大きめに星を書いたB5~A4くらいのサイズの紙に描いてきてもらった。その時は、何座か紹介するのではなく、そこに合わせて描いてくれた星座をプログラムで動かしたり、最後には星座に合わないけれど描いてもらった星座をドーム一面に映し出したりした。</p>
事務局	<p>非常に大変そうだが、どうやって出したのか。</p>
●●	<p>バーチャリウムなので、事前にパソコン上で貼って出すことができた。もしそうでなかったら、全て出さなくても良いと思う。</p>
●●	<p>子どもたちの発想はすごいので、見に来た人たちはドームに映るとうれし いだろうし、投映を見に来たわけではない通りかかった人の目にも触れると 良いと思う。ぜひ飾ってあるのを私も見てみたいので、一般の人も見られる ような展示を考えてもらいたい。</p>
事務局	<p>文化センター開館30周年ということだが、参考までに文化センター全体で の大きなイベントはあるのか。</p>
事務局	<p>プラネタリウムは資料に記載の通りで、郷土資料館では小金牧についての 特別な企画展を実施予定。まだ内容は外部にお話しできない状況だが、文化 会館の自主事業でも実施予定はある。</p>
●●	<p>その他議題はあるか</p>
事務局	<p>令和6年度の運営協議会について、説明を行う。</p> <p>あり方検討委員会で大規模改修や各館縮小の意見が出た中で、文化センタ ー各館の継続が決定したため、どのように改修していけばよいか話し合う「大 規模修繕計画」というものが来年度立ち上げられることになった。そこで出 された案がそれぞれの運営協議会に落とされて、検討するよう要請が来ると 思われるため、来年度の運営協議会の回数を1回増やさせてもらった。ただ、 会議の内容がどこまで検討していくのか見えていないため、通常の会議で済 んでしまえば2回で終わる可能性もある。もっとご意見を聞きたいという場 合は会議の回数が増えてしまうがよろしくお願いしたい。</p>
●●	<p>これに関して質問はあるか。 全体についての質問・意見はあるか。</p>

<p>事務局</p> <p>●●</p> <p>●●</p> <p>●●</p> <p>●●</p>	<p>学習投映について、来年度から教科書が変わるが、投映内容に大きな変化はなく、今まで通り投映を継続していく予定。</p> <p>投映開始時間について現在、最初の回は 9 時開始を可能としているが、来年度は 9 時 15 分以降から投映可能と変更する。2 回目以降はこれまで通り行り 10:30 以降投映可能。</p> <p>午前中に 2 回行っていただけるのであれば、15 分スタートでも大丈夫だと思う。給食の時間が 12 時 25 分からのため、遠い学校だとしても特に影響はないと思う。</p> <p>他に意見、質問はあるか。</p> <p>なし</p> <p>ではこれで会議を終了する。</p>
--	--